

ID	
氏名	
年齢	
科名	病棟

Pola-R-CHP[day2]療法

3 週毎 6 コース予定

悪性リンパ腫

主治医 指導医 HBs抗原()、HBs抗体()、HBc抗体()

スケジュール

		day1	day2	day6
リツキシマブBS	375 mg/m ²	↓		
プレドニン(プレドニゾロン)	100 mg/body		↓	→
ポラツズマブ	1.8 mg/kg		↓	
ドキソルビシン	50 mg/m ²		↓	
エンドキサン(シクロホスファミド)	750 mg/m ²		↓	

- 【注意】 *リツキシマブ施行時は体温・脈拍・血圧測定・SpO2測定をUP直前に行うこと
- *ドキソルビシンの総投与量は500 mg/m²を超えないこと
- *ポラツズマブ初回投与は90分かけて点滴静注し、忍容性が良好であれば2回目以降は30分まで短縮可
- *ポラツズマブは投与量が75 mg以上の場合は生食100 mL、75 mg未満の場合は生食50 mLで希釈する
- *ポラツズマブは0.2または0.22 μmインラインフィルターを通して投与すること
- *7コース目以降はリツキシマブ単剤療法へ移行する

通常量より減量する際の理由

(レジメン)

【初回のみ】*初回投与は必ず入院で実施

day 1

① イブプロフェン 100 mg錠 + デザレックス 5 mg 錠 内服

☆30分後より

② 生食500 mLにて血管確保 維持(20 mL/時間)

- ③ リツキシマブBS + 生食 適量(10 倍希釈)

*注:総量600 mLを超える時はテルモ生食1 Lを使用

◎輸液ポンプにて50 mL/時間で点滴静注

- ④ 50 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて100 mL/時間で点滴静注

- ⑤ 100 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて150 mL/時間で点滴静注

- ⑥ 150 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて200 mL/時間で点滴静注

- ⑦ 200 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて250 mL/時間で点滴静注

- ⑧ 250 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて300 mL/時間で点滴静注

- ⑨ 300 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて350 mL/時間で点滴静注

- ⑩ 350 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて400 mL/時間で点滴静注

day 2 抗がん薬投与1時間半前にアプレピタントカプセル 125 mg 1C 内服

- ① イブプロフェン 100 mg _____錠 + デザレックス 5 mg _____錠 内服

☆30分後より

- ② 生食500 mLにて血管確保 維持

- ③ パロノセトロン 0.75 mg + 生食 20 mL 側管静注

- ④ プレドニン 100 mg + 生食 50 mL 点滴静注5分(600 mL/時間)

- ⑤ ポライビー + 注射用水 適量 + 生食 100 mL

※75 mg未満の場合は生食50 mLで希釈

点滴静注 90～30 分

(140 mg/Vは7.2 mL、30 mg/Vは1.8 mLの注射用水で溶解)

☆初回投与時は90分間、以降は忍容性良好であれば30分間経過観察を行う

- | | | | | |
|---|----------|---|-----------|-------------------|
| ⑥ | ドキシソルビシン | + | 生食 50 mL | 点滴静注5分(600 mL/時間) |
| ⑦ | エンドキサン | + | 生食 100 mL | 点滴静注60分 |

◎血管確保していた生食を、エンドキサンと同時滴下 90 分で点滴静注

day 3 - 4 アプレピタントカプセル 80 mg 1C 1×朝食後 内服

day 3 - 6 プレドニゾロン錠 内服

【2回目以降】第1サイクルにおいて発現した有害事象がGrade2以下であった場合

day1

- ① イブプロフェン 100 mg_____錠 + デザレックス 5 mg_____錠 内服

☆30分後より

- ② 生食500 mLにて血管確保 維持

- ③ リツキシマブBS + 生食 適量(10倍希釈)

*注:総量600 mLを超える時はテルモ生食1 Lを使用

◎輸液ポンプにて100 mL/時間で点滴静注

- ④ 100 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて200 mL/時間で点滴静注

- ⑤ 200 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて300 mL/時間で点滴静注

- ⑥ 300 mL/時間で30分点滴静注した後、患者の状態に変化がなければ

◎輸液ポンプにて400 mL/時間で点滴静注

day2 抗がん薬投与1時間半前にアプレピタントカプセル 125 mg 1C 内服

① イブプロフェン 100 mg_____錠 + デザレックス 5 mg_____錠 内服

☆30分後より

② 生食500 mLにて血管確保 維持

③ パロノセトロン 0.75 mg + 生食 20 mL 側管静注

④ プレドニン 100 mg + 生食 50 mL 点滴静注5分(600 mL/時間)

⑤ ポライビー + 注射用水 適量 + 生食 100 mL

※75 mg未満の場合は生食50 mLで希釈 点滴静注90～30分

(140 mg/VIは7.2 mL、30 mg/VIは1.8 mLの注射用水で溶解)

☆初回投与時は90分間、以降は忍容性良好であれば30分間経過観察を行う

⑥ ドキソルビシン + 生食 50 mL 点滴静注5分(600 mL/時間)

⑦ エンドキサン + 生食 100 mL 点滴静注60分

◎血管確保していた生食を、エンドキサンと同時滴下90分で点滴静注

day 3 - 4 アプレピタントカプセル 80 mg 1C 1×朝食後 内服

day 3 - 6 プレドニゾロン錠 内服

	1コース		2コース		3コース	
	/		/		/	
リツキシマブBS 開始時刻	↓		↓		↓	
プレドニン 開始時刻		↓		↓		↓
ポライビー 開始時刻		↓		↓		↓
ドキシソルビシン 開始時刻		↓		↓		↓
エンドキサン 開始時刻		↓		↓		↓
確認						

	4コース		5コース		6コース	
	/		/		/	
リツキシマブBS 開始時刻	↓		↓		↓	
プレドニン 開始時刻		↓		↓		↓
ポライビー 開始時刻		↓		↓		↓
ドキシソルビシン 開始時刻		↓		↓		↓
エンドキサン 開始時刻		↓		↓		↓
確認						